

として、フリーターを対象としたセミナーやカウンセリング、職場見学会等を実施するとともに、より地域の産業や教育施策との連携を強化して、ジョブカフェの就職支援機能の一層の強化を図っている。

### 5 若者の人間力を高めるための国民運動の推進

若年者雇用問題の解決のためには経済界、労働界、教育界、マスメディア、地域社会、政府等の関係者が一体となった取組が必要であることから、2005（平成17）年度から、若年者雇用問題についての国民各層の関心を喚起し、若者に働くことの意義を実感させ、働く意欲・能力を高めるため、「若者の人間力を高めるための国民運動」を展開している。

この国民運動の中核として、広く関係者によ

り構成される「若者の人間力を高めるための国民会議」を開催し、2005年9月には、国民に向けたメッセージとして「若者の人間力を高めるための国民宣言」を取りまとめるとともに、広報・啓発活動の展開など若年者雇用に関する国民各層の関心の喚起を図っており、2006（平成18）年度においても、一層の広報・啓発活動の展開等により、国民運動を推進している。

また、2004（平成16）年12月に取りまとめられた「若者の自立・挑戦のためのアクションプラン」に基づき、2005年度、新たに「若者フォーラム」として、ウェブサイト「ニュートラ（[www.neutra.go.jp](http://www.neutra.go.jp)）」によるインターネット上での意見交換・情報発信・意見収集や、若者就職支援のためのシンポジウム「なるにはメッセ」の開催等の広報・啓発を行った。

## 第2節 奨学金の充実を図る

### 1 日本学生支援機構奨学金事業の充実

日本学生支援機構の奨学金事業は、教育の機会均等の実現と人材育成を目的として、優れた学生等であって経済的理由により修学困難な学生等に対して、経済的支援を行っている。

奨学金事業については、これまでも学ぶ意欲と能力のある学生が経済的な面で心配することなく、安心して学べるようにするため、毎年充実を図ってきている。2005（平成17）年度においては、事業全体で、対前年度比約7万人増の

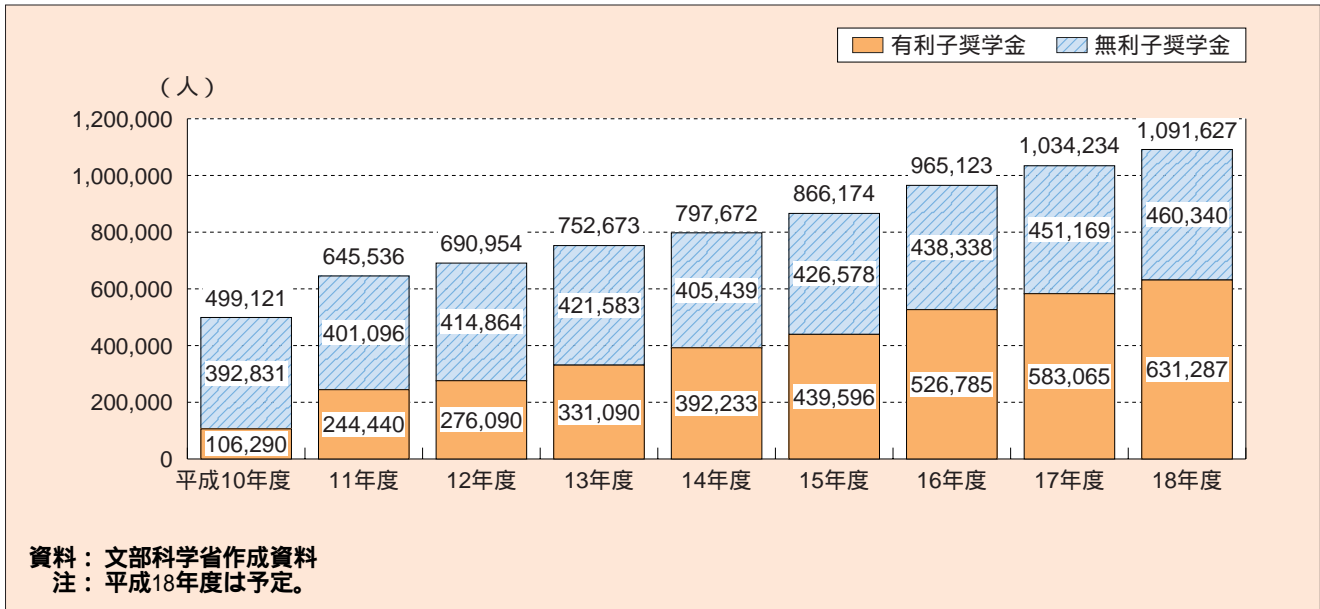
103万4千人の学生等に対して、690億円増の7,510億円の奨学金を貸与した。

奨学金事業は貸与制により実施されており、卒業後の奨学生からの返還金を後進育成の資金として再度活用している。

奨学金の種類としては、無利子奨学金と有利子奨学金があり、有利子奨学金は、在学中は無利子で、卒業後は年利3%を上限とした利子が課される。



第2-1-1図 貸与人員の推移



第1章

第2-1-2図 奨学金事業費の推移

